

・登米高等学校 志教育実践事例

活動名

登米高等学校「インターンシップ」

登米高校：1学年

普通科（99名）

【活動のねらい】

- ・実習を通して働くことの厳しさや達成感を体得させる。
- ・働くことの楽しさや喜びとともに、自ら学ぶ意欲を育てる。礼儀やマナー、身だしなみ等の指導を通して社会人として必要な力を実践を通して身につける。
- ・自己の職業適性や将来設計について考える機会として設定し、生徒自ら職業選択の能力や職業意識の伸長を通して、よりよいキャリア形成に繋げる。
- ・地域や産業界の方々と連携を図ることで、生徒が教師や保護者以外の大人と接する貴重な機会と位置づけ、コミュニケーション能力の向上を図る。

[志教育の視点]

- ・地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の産業を知り、地域に貢献する態度の育成を図る。

〈活動の流れ〉

- ・本校普通科1年生の生徒が3日間、地域の事業所の方々の協力をいただきインターンシップを実施しています。今年度は販売、保育、介護、印刷、公共、製造など登米市内28の事業所で行いました。



- ・事前指導として、計画を立てるなどして見通しを持たせるとともにマナー講習を実施した。
- ・事後指導ではお礼状や報告書の作成を行った。また、事業所ごとにインターンシップで学んだことの発表を行った。

ポイント

活動の趣旨を生徒に理解させる。

ポイント

事前準備、練習をしっかりと行い真剣に取り組む。

ポイント

事後指導で、将来の進路目標に繋げる確認をする。

夢や志をはぐくむ手立て

- ・望ましい勤労観や職業観の育成を目指し、事前・事後学習を充実させる。
- ・地域・事業所の方々の協力をいただき、地域に関わるとともに自身の進路についての考えを深めさせる一助とし、目標に向かう姿勢を育てる機会とする。

か
か
わ
る

も
と
め
る

は
た
す